



古言清濁考

三
止



古言清濁考三之卷

○多部

夕力

ふかひえ

神号

ひ○

高比賣命
上古

ふかちなびえ

名人

ひ

● 高千那毗賣
古中元

ふかぬかひえ

名人

ひ○

高額の比

賣
古中開化

ふかぬかひえ

名人

ひ○

竹野比賣
古中開化

ふかへ

鳥名又
人名

か○ へ●

多詞辨郎女
古下反正高部
万三丁十六丁

ふか

ふかひえ

名人

ひ○

高材比賣
古中開化

ふかさ

所曰
山へ

ふか

多加紀
古中神武
紀顯宗
多伽機
武紀神

ふかさのやま

吉野
あり

ふか○ 高城山
万三丁
高木神
ふかきと云事皆法
ふかきと云事皆法
ふかきと云事皆法

ふか

雁又
姓

か○ 多可
万十九丁
結日十七丁

ふかき

地名

かさ○

○ 清濁考三

一



どろろとぬきまど
のどろはほろろ
ふぐる
手して物
さくる
く ● 波多多藝上古

こまハ多具とも
五十四
十九丁
ふぐる
吐歐
く ● 多具理上古

ふぐひ
副
く ● 多具比
万十五
十一丁

タケ

ふけひるやり
神
ひ ○ 建比良鳥命上古
ふけさはやら

ぬみ
神
けさは三ツ
ち ● 多氣佐波夜遅奴美神上古

ふけふつ
神
ふつ ○ 建布都神上古
ふけみかづち
神

か ○ つ ● 武甕槌神紀代 健御賀豆智命延喜式 賀賀を用

ハ正
うず
ふけち
人名
地名
けち ○ 高市タケチ 紀天武
二、三丁
ふけ

はかや
人名
は ○ 建波爾安王古中 崇神
ふけひえ
人名
ひ

○ 建比賣古中 景行
ふけやよはづるわけ
人名
つ ● はけ

○ 建豊波豆羅和氣王古中 開化
ふけりのみや
安藝
地名
け ○

多祁理宮古中 神武
ふけ
伊勢
郡名
け ○ 多氣郡結日一和名 抄神名帳

ふけ
竹
け ○ いくと 娜開紀代 継
果ふけ
嶺
け ○

くどふる多氣古 上
ふむろ 多氣日下 雄畧
こは多氣
五丁
紀

ふけふ
健
ふ ● 多祁夫古 多替古 眉紀代 神
多鷄備
五十二丁

ふげ
け ● 多碓紀皇 多宜
万二、四
十二丁

タコ
タシ
タヌ

ふこ
越中
地名
こ ○ 多古比万十七 多枯万十九 のろ
十九丁

このよびさか 地名 ひ ● さ ○ 手兒乃欲婢佐可 万十四丁

ふこむ 腕 こ ○ 多古牟良 古下 雄略 女紀小陀俱符羅 多誤辞

ていもいへり 但し陀符 物越へて こ ● 多誤辞

紀崇 ふこさく 姓 こ ● 多吳吉師 功紀神 郡名 上野

こ ● 多胡胡音如吳 和名 胡方系十四かい 多

立繁 竹 ふ ● 多斯美陀氣 古下 雄略 多

志陀志 古下 九恭 ふさな 名 人 多須奈 紀用 明 多

多須氣 万十八丁 多須枳 紀神 多須吉 万五丁 多須奈 明 多

夕

ふなえて 而 播並 ふ ○ 多多奈米底 古中 神武 哆哆奈梅豆 同 紀

ふなづく 着 疊 ふ ○ つ ● 多多那豆久 古中 景 行 紀 同 多

ふかふ 戦 ふかふ皆 ○ 多多加閑婆 古中 神武 紀小陪を用 多

らぶ ふさ 様 堅 ふさ ○ 多多佐 万十八丁 多

ふ ○ 立住 万十六丁 八丁 ふく 叩 ふ ○ 多多岐 古上 紀 継体 多

ふみこも 置 蔬 ふこ ○ 多多美許母 古中 景 行 紀 同 多

ふ又ふふ太を用 ひさうハ遠ひふ ふい 尺 ふ ● 多懷ひとふ 紀允 多

太ひと免 万十七丁 万五丁 ふいこえ 直 越 ふ ● こ ○ 多太古要

万十七丁 万十九丁 ふか 直 ふ ● か ○ 直香 万九丁 多太可 四十

丁四 ふむさ 腕 ふ ● さ ○ 多陀牟岐上 古 多娜武枳 仁 紀

德 **あいふ** 流飄 **あ** ● 多陀用幣琉上 **あいひや** 人凡

あ ● **い** ○ 俗一かきはえあゝゝぬど。ほろ。ニハ族のさる所ありハ。如此定つ。

夕子

あ ちかへり 立 帰 か ○ 多知可敵里 万十九、九丁 **あ** ち

あ ち 立 多知度 万十四、二丁 **あ** ちばあり 立 走 は ● 多

知婆志利 万五、二丁 **あ** ちあざり 考 未 さ ● 立阿射里 万五、四十丁

あ ちさかゆる 立 栄 さ ● 多知邪加由流 雄古下 紀二瑳 ち

不心 **あ** ちこも 鴨 立 こ ○ 多知許毛 万三、三丁 **あ** ちあな

あ ち 起棚 **あ** ○ ふやふ多知多奈妣久 万十七、一丁 **あ** ちはけ

太刀為 佩 **あ** ち 引 はけ ○ 多知波氣 古中 景行 多知波開 日紀 **あ** ちばな

橘 **あ** ○ は ● 多知婆那 古中 應神 万葉集中 多知麼那 日紀 天智 紀

播を用ひるふふ波を **あ** ちま **あ** ちま 名 國 ち ● 多遲麻毛理 古中 應神 懿徳

ちまもろま **あ** ちまもろ 名 人 ち ● 多遲麻毛理 古中 應神 **あ** ち

あ ちね 名 人 **あ** ○ 多遲摩斐泥 古中 應神 **あ** ちまひならさ 名 人

あ ○ さ ○ ● 難定 多遲摩比那良岐 古中 應神 **あ** ちまひ

あ ち 名 人 **あ** ○ 多遲摩比多訶 古中 應神 **あ** ちまひ

あ ち 姓 河内、地名、又 姓 又 鹿林 ち ● **あ** ○ 多遲比怒 古下 多治

比、君 古下 宣化 反正紀ふ、多遲花とあるハ。遲 **あ** ちか

手 ち ● 多治可良 万十七、九丁 天手力男於神の傍

力 ち ● 多治可良 万十七、九丁 天手力男於神の傍

タツ

ふつふやま

大和地名

つふ○

多都多比山

万十五丁

ふつか

づゑ

手束杖

上、つか○

下、つ○

多都可豆惠

万五丁

ふつ

こも

壁防

こ●

多都基母

古下履中

ふつ

龍

つ○

多都

万五

丁十

ふづ

名鳥

つ●

多豆

古下九茶

万十八丁

都を用ひと

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ね

尋

つ●

多頭祢

万十九丁

多豆祢

万五丁

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

つ

金と

つ皆●

多豆多頭思

万四丁

都を用ひと

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

つ

手

つ●

多豆

多豆伎

万十八丁

後世つと

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

都

を用ひと

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

ふづ

かひ

田地、事物

つ●

かひ○

陀豆歌

毗明

紀欽

毗

用

用

用

用

用

ひ

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

タテ

タト

ふて

奉

てつ○

多氏

麻都良世

古

多氏

麻都流

万

奉

奉

奉

奉

九ノ

四十一丁

豆を用ひと

ふて

奉

奉

奉

奉

奉

奉

奉

奉

奉

上

ふて

楯

て○

多豆

万八丁

ふて

蓼

て●

取所入

取所入

取所入

取所入

御船

之楯而下立

故号其地

謂楯津

於今者云

日下之蓼津也

御船

之楯而下立

故号其地

謂楯津

於今者云

日下之蓼津也

御船

古中

至草香津

植盾而為雄

詰焉

因改号其津

曰盾津

今云蓼

神武

至草香津

植盾而為雄

詰焉

因改号其津

曰盾津

津記也

同紀

是楯と蓼と

の異なる

ふて

伊勢

地名

や●

多度神

多度神

多度神

多度神

多度神

続日

世七

神名帳

こハハカ

ふて

ハハ

多

多

多

多

多

多

多

○ 係属考三

○ 七

騰保美 万十七、
丁、九三丁

手 著

●

多騰伎 万十七、
三丁

多度

伎 十五、
丁、八丁

登。土を用ひとる。
ハ、正一、う、ま。

タナ

タニ

タネ

ふなみ

地名 近江

か

多那伽弥 紀神功

ふなみ

地名

く

○ 多奈久良地 万十九、
丁、四十一丁

ふなみ

手 末

そ

○

多那須

衛代 紀神

ふなみ

掌

そ

○

陀那則攀 紀顯宗

ふなみ

ふなみ

機棚

は

多那婆多 古上、紀神代

ふなみ

名 國

は

○

且波

古中開化、万

十、二、九、五、丁

後世タンバとほる。
ハ、字、ま、う、つ、り、と、ま、る。

ふなみ

名 國

は

○

且波

古中開化、万

十、二、九、五、丁

多尔具久 古上、万
五、七、丁

ふなみ

名 國

は

○

且波

古中開化、万

十、二、九、五、丁

多尔具久 古上、万
五、七、丁

ふなみ

名 國

は

○

且波

古中開化、万

十、二、九、五、丁

九、
六、丁

云

ふなみ

手 放

は

○

多波許登

万十七、
丁、一丁

多波礼

九、
七、丁

多波美豆良

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

九、
六、丁

云

ふなみ

手 放

は

○

多波許登

万十七、
丁、一丁

多波礼

九、
七、丁

多波美豆良

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

タハ

ふなみ

手 放

は

○

多波許登

万十七、
丁、一丁

多波礼

九、
七、丁

多波美豆良

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

ふなみ

手 放

は

○

多波許登

万十七、
丁、一丁

多波礼

九、
七、丁

多波美豆良

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

ふなみ

手 放

は

○

多波許登

万十七、
丁、一丁

多波礼

九、
七、丁

多波美豆良

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

ふなみ

手 放

は

○

多波許登

万十七、
丁、一丁

多波礼

九、
七、丁

多波美豆良

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

ふなみ

手 放

は

○

多波許登

万十七、
丁、一丁

多波礼

九、
七、丁

多波美豆良

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

多波

万十四、
丁、六丁

タヒ

○ 読考三

八

多比理岐志麻流美
ひさし皆○

神上古
多比良宜
け●
多比
火手
ひ

●多比紀神
度
ひ●
や多比
万九丁
比を用ひ

多比
ひ●
多婢末祢久
万九丁
旅

多比
ひ●
多婢
万九丁
非比を用ひ

こ○
多比
万九丁
後世にまほ

下ひ○
紀推古卷ふ多比等とあるハ正しうなり

多比
ひ●
多婢
万九丁
多杖
七丁
多婆

利
十四丁
十七丁
多杖
七丁
陀毗盧箇

須紀神
代

タフ

多布斗久
古多輔妬句
紀神
多不刀久
万十八丁

多夫礼
万十七丁
多夫世
万十丁

多夫手
万八丁
多夫勢
万十丁

多夫
万八丁
多夫
万十丁

多夫勢
万十丁

タマ

多夫
万八丁
多夫
万十丁

多夫
万八丁
多夫
万十丁

多夫
万八丁
多夫
万十丁

多夫
万八丁
多夫
万十丁

多夫
万八丁
多夫
万十丁

多夫
万八丁
多夫
万十丁

多夫
万八丁
多夫
万十丁

地名 多麻提紀天 多麻傳古

万葉集 提を用ひ 多麻河泊万十四丁

多麻提智 多麻伎武藏地名 多麻河泊七丁

多麻伎武藏地名 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

多麻河泊七丁 多麻河泊七丁 多麻河泊七丁

1

チハ
チフ
チラ
チリ

ちはやぶる 枕 知波夜夫流 古中應神。布を用ひし。

ちはやひや 枕 ひ○ 知波夜比登 古中應神。知破椰臂等。

徳 ちば 名地 は● 知婆 古中應神。紀

元不知波乃奴とあるハ遠うむ。 云くちふ と云う約ニ ち○ あそそある智否

万七、十五丁 てふまうむ 知布 八、丁 ゆく智布 五、七丁 ちぶ 越中、地名

ふ● 知夫利 万十七、六丁 ち〜へる 散 へ○ 知良敵流 万十

五、五丁 ちめひぢ 泥塵 ひ○ ち● 知里比治 万十五、一丁

○都部 ツカ

つか 人名 か○ 都加使主 紀應神。掬直雄 つか 陸奥、地名

○● 難定 都加留 紀育一処の つかむ 搏 か○ 東見 ツカミ

万十六、十五丁 つかへ 仕 へ○ 都加敵 万七、四丁 倍を用ひし

つかはを 遣 は○ 都加播佐礼 万五、一丁 つがぬ 津、地名

か● 菟餓野 紀神功 都賀野 万十一、八丁 つがやま 近江、地名

都賀山 統紀持 つが 名木 か● 都賀 万三、九丁

ツキ つさう 急 さ○ 菟岐子 紀崇 つさ 月又 さ○ 都紀

古中 都奇 万十八、十丁 つさぬち 月、又え 都奇多都 万

七、三丁 つさごろ 頃月 こ● 月期呂 万四、十九丁 月其呂 八、九丁

つさくさ 名草 さ○ 月草 万十二丁
つさ 名木 さ○ 都紀

古下 雄畧 菟區ゆみ 紀神 功
つざはし 橋継 さ● は○ 都藝波

思 万十四丁 継のさふ伎を用 ひとふハ不正
つざぬふ 山城、松河 さ● ふ○

都藝泥布 古下 鬼藝泥赴 紀同

ツク ツケ

つくは 常陸郡名 は○ 都久波 古中景行、紀同、万葉 ぼるハ
つくぬ

地名 く○ 都久怒 万十六丁 つくし 名國 ー○ 筑紫 古上、万五

丁、三 つくろ 作 く○ 都久理 古下 都俱喇 紀継

鳥名又 人名 く○ 都久宿祢 古中孝元、姓氏録 木菟宿祢 紀仁 つく

衝 く○ まび 都久 古下 清寧 つく 盡 く○ 都奇 万九丁、四

つく 著 く○ 都祁 万九丁、六丁 つけ 地名、和 け○ 都祁

古中 神武 關 鶏 紀仁 徳 ぼるハ 誤

つゑ 葛 ぬ○ 都多 万九丁、三丁 某づゑふ 傳 つ● いそ豆

多布 古中 景行 も、豆 多布 神應 も、逗 拖甫 紀顯 ちる豆 多比 万九丁、七丁

つち 土 ち○ 都知 万九丁、九丁 都智 万七丁 地、を用いハ不正

くも 蜘蛛 土 土具毛 古中 神武

ツ、 ツ

つさ 山城郡名 つさ○ 都都紀 古下 仁 徳 紀同 つさく 啄 つく

○ 都追伎 万十六丁、九丁 つさ 鳥名 つ○ 都都 古中 神武 云くつく

下 つ ○ うぬい都都 古中 仲良 うぬい菟菟 紀神 功 都追 十

九、六 此言狩多しゆれども つ 木 名 木 つ ○ ー ● 管 自

五丁 此言多しゆれども 都追慈 十三、十四丁 つ 管 つ ○ 上、条ふて つ 包 つ 都

七、卷 都追慈 つ ○ 都追奉 ことろく 万十五、十四丁 つ 包 つ ○ 都

々美 万十八、十四丁 つ 堤 つ ○ 都追美 万十四、十一丁 つ 鼓

つ ● 都豆美 古中 仲良 紀神 功 つ 續 つ ● 豆豆企 紀神 代

呂比 万五、九丁 つ 蔓 つ ● 都豆良 古中 景行 菟頭 邏 紀 つ

助 詞 つ ○ ちり都 古中 崇神 まへ菟さ 紀景 行 おさ都 かみ

万十八、十三丁 いほ都 追 わふあや 二丁 紀 ふ面豆を用い

づ 出のい つ ● もれい豆 万十四、十八丁 こや小豆 丁

もれい豆 つもハ出つ ツテ ツト ツナ

つてこ 言傳 ニ ○ 都底舉騰 紀天 騰を用い つや 畏

や ○ いへ豆刀 万十五、十八丁 や 都刀 丁 つ ぜへちぬ 神

や ● へち ○ 都度閉知泥 神 上 古 つ ぜい 集 や ● ひ

○ 都度比 古上、万十、七丁、十八、九丁 つ 魚 ー ○ 都奈之 万十、七、四

十六 丁 つ な く ● 屠那藝 紀神 武 都那遇 明 佐を用い

ツヌ ツネ ツハ

つぬが 越前、地名 か ● 都奴賀 古中 仲良 都怒我 紀垂 仁 つぬさ

のみや 大和 さー〇 都奴婆之のともや 紀 つぬぶ 地名

ふ ツタ 角太河 カハ つぬさ 岩の さは〇 鬼怒

瑳破赴 紀 都奴婆播符 体 つぬ 常 ひ〇 都祢比

等 万十八、十六 つばさ 椿 は 都婆岐 仁 古下 都婆伎 万

つばさ 曲 は 都婆良可 十一丁

つひふ 終 ひ〇 都比尔 万九、六 ち 記 つぶ

ら 名 ふ 都夫良 即女 古下 つぶ 岡部翁曰物の沈

鳴 音 ふ 都夫多都 上 古 つぶ 具 ふ 麻

都夫佐 上 古 つば 草 ほ 都保須美礼 万八十八丁

つ あぐ 万九、五 敏達紀 小 符 を用ひ 都煩

つ ツマ ツミ ツム

つ 枕 こ 御暮屋 紀 武 つ 妻

こ 都麻嘉 微 上 菟 替 語 昧 紀 神 つ 問 や

都摩 枅 比 古下 つ 度 比 万十八 つ 未 や 都磨

怒 体 唌 紀 継 つ 妻 こ 意 こ 胡 非 万五 つ 妻

つ 妻 〇 つ 多 豆 理 古 下 紀 二 陀 を用ひ 某 づ

が 豆 麻 日 六 丁 あ 豆 麻 日 五 丁 ひ 豆 麻 日 一 丁 あ 豆 麻 日 七 丁

中
が
咎
口

等伎知可

○●難定等枳等枳紀允等伎

不
時
登岐士玖
古中
垂仁
等伎自久

常磐
は○
等吉波
五十八
十一丁

ト
ク

ト
コ

●
刀具
万九、五
十一丁

○ 天之常立神訓
訓常云登許訓立云

少二五
名人
二〇

德太理
十四丁

陪ハ、ふるまふれども、けさの間の通ハ、
て用ひたる処もあれば、定先として。

5

少

都を用ひ

卷二

等已與のくふ
元三丁

二 ● 刀其己呂
十五丁

卜
午

一のは
 毎年は〇

萬二、廿一丁
續日宣命

中
一
十
三
が

中

古事記
傳

うまゝ奴知

ふい
ろろ
度知
十九
丁八

滯
空

臈米
戒七丁

文、語、其、満、の、登、等、

〇 二五

ふにぬ 刀介

名

紀崇禎三十八

補
六

ひふ○斗

問
竈此云塗
毗宇
明紀

等
弭
箇
慨
利

古中
應神
と
兒
栞
母

トヨ

神号

やよきさひ
名人
ひ

空ふみけかゝるやいふ
推古天皇

某中
動音
中
○
々
々

粒あり。低く。き。と。き。に。
 と。ハ。る。き。あり。と。ハ。き。り。部。分。

トラ

ト
リ

卜口

取著

は○等里波

か ● 登理賀良斯 古中
應神

池イナ 万十ノ四
十二丁 石ハ八
丁ニ

斗呂呂岐
上古

中
止
か
日
十
か
○
登
表
加
中
古

景行
苔塢
伽
純
いこうとら
みきひと

○那部

忍坂之大中比賣
應神田中比賣

○ 清江考三

〇九一

古下中比賣宣

ながさみ

姓中

中

奈加等美

万十七、五十一丁

な

讀岐筑前、常陸郡名

か

中乃水門

万二、四十二丁

那珂

万五、十四丁、和名抄

賀を用ひるハ不正

な

子仲

ち

奈可

知

万十四、十七丁

出紀、仲をみ、かちとよみ

な

折中

ぬ

奈可太年礼

万十四、十九丁

な

却

か

奈加奈可尔

万十七、十六丁

な

懸名

か皆

可加須

万十七、十九丁

な

名

ひ皆

長日比賣

古下

仁徳

な

名

ひ

長目比賣

古下

な

名

ち

紀無

市ハ訓みれども、

な

名

○

か

那賀須

泥

毗古

古中

神武

な

紀伊

か

我

三

続日

那賀賀

音如鶴

和名抄

な

名

か

や

○

奈

我

万十五、十一丁

な

長命

ひ

○

那

餓

仁紀

徳

な

道長

て

ち

○

ち

奈我

万十五、十丁

ひ

み

奈我道

万八、丁

道ハ

訓みれども、

かをほれをほれ

道之長乳齒、神の傍名も

な

が

れ

流

か

那峨例

紀継

奈何礼

万五、八丁

な

が

一

経在

か

へ

○

奈我良倍

万十九、十三丁

他一倍を用ひるハ不正

ナキ

ナク

ナケ

ナコ

な

名

○

那

老

野

紀持

倉

万九、十三丁

な

が

二

又

波

さ

ひ

○

那

藝

佐

毗古

神

上

な

水

さ

○

奈

疑

紀天

奈

宜

万十四、十三丁

伎を用ひるハ不正

な

が

り

さ

○

奈

疑

年

万十九、十九丁

奈

具

流

ひ

も

風の とき ● 奈藝 万十七、四 奈祇 八十三、
和心 十九丁

那久 古下 那春 紀仁 万五、八 奈賀 奴 万十、
紀 万十、八 奈賀 奴 万十、八 奈賀 奴 万十、八

奈具佐 奈 万十八、九 奈げさ 息 歎 け ● 那皚 矩 紀 継 奈宜

久 万五、六 気 万五、六 奈其夜 万十四、五 奈其夜 万十四、五

四、卷 奈胡也 万五、六 奈其夜 万十四、五 奈其夜 万十四、五

七丁、十七、十九 奈其夜 万十四、五 奈其夜 万十四、五

ナサ ナシ ナス ナセ ナソ

なごかのうみ 常陸 万五、六 奈左可 万十四、五

なご 梨 万五、六 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

那須 万五、六 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

いふと 万五、六 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

徳と 万五、六 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

ふ能須 万十四、五 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

○ 那世 古上 万十四、五 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

倍 万十四、五 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

ナタ ナツ

なふ 万十四、五 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

奈太 万十四、五 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

ナツ 万十四、五 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

○ 奈都 万十四、五 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

○ 奈都 万十四、五 奈左可 万十四、五 奈左可 万十四、五

なつみ
設
つ
●

つ ● 奈豆佐布 十萬

う ● ぎ ○ 那

那豆能紀
古下仁德

つ ● 柰渥 万斤 十二丁
豆を用ひふふ
ふーうーず

○
.
1
.
5

弓を用ひしと
ふふしうしど。

なやみ
閑長
や

なや
●
那 村
神武 奈 臈
六丁

は○
正しきこと。又後世も。心をなす。なす。

ち ● 奈尔波治 万九、
五丁

はるは

なまはひ

なつみそ
名

卷之四

ナホ

代	替
は	

はみ ○ 奈波多

那婆理
安寧
隱

摩
乙

儼弭企紀顯奈妣久万丁十奈婢久日五十比も用ひ

なぶる野ふ●奈夫理万十五なべ鍋へ●那陪

紀神云くなべ並へ●かじ那倍て古中景ゆづの奈

倍万十四さく奈倍五十八さく奈倍十八十とこー

す奈倍六丁よろー奈倍一巻三巻六苗へ○奈波之呂万十

て又へおえお通ハといふまあなへ苗へ○奈波之呂万十

五倍も用ひなほび神ひ●神直毘神大直毘神

上古なほ猶ほ○奈保万丁四ナレナレ

なまを膾も○奈麻須万十六なみ浪ふ○●難

定那美多古下仁徳紀奈美太万丁九なみ浪波

く●那美多具麻志古下仁徳那弥多愚摩辞日紀涙具末之三

五十芦のつらなほち奈良ち●奈良

二丁るど遅万五奈良治十七ならひや奈良ひ○奈良比等万

九丁ちうびはま難波ひ●は○那羅弭破紀仁

なび並ひ●那良毗万五奈良倍万丁十敵も用

ハちうのち地名一○奈良思之岳なみは鳴は

はひ産は○奈里波比万十八なみは鳴は

○鳴波多と免万十九なみは鳴は

波万十四ちれごろも幣こ●奈礼其呂母万十五

二 丰

熟田津此云你枳陀豆一齊紀

ハ
ハ
ハ
ハ

此三条のこゝハ漢を

俗言ニ
ヒ

神号
子

כ

握
之

伎を用ひたる
ハニシのうず

小
 ぐ
 ろ
 ー
 黒
 く

く ● 尔宜 古下 雄畧 尼号 同紀

二〇二

二〇 尔古餘可 元 万

こゝろにふこひるごと通ひてほろあゝむらと
もあゝへとかくほろあゝのかゝとつゝ用ひゝめだ

二 ● 尔其礼留 五十四
世一丁

二ノ

—, 92

○ 迹之枳紀允 尔思吉万十四 かなひ荷 ひ○ 尔奈

比万十八 十丁 小比 号神 迹迹藝命上古 小ぬぐも布雲

く● 尔努具母万十四 小のほ總冊 ほ○ 尔能保万五 九丁

二ハ 二ヒ

小はか 俄 はか○ 尔波可万十六 十三丁 小は庭 は○ 尔波

万十八 十一丁 小はぬづみ雨のあめて俄水の流れを云 ふ○ つ● 尔波多豆

美 万十九 十三丁 七、六丁、庭立水 小はつやり 鶏 や○

尔波都登理上古 你播都等喇紀継 小ひばり常陸郡名 は●

尔比婆理古中 珥比磨利同紀 小ひふ上野郡名 ふ○ 尔比多

万十四 十二丁 小ひかは越中郡名 か○ 尔比可波万十七 九丁 小ひさ

さもり新防人 さ○ 尔比佐伎母利万六 十九丁 小ひくさ新草

く○ 仁比久佐万十四 十九丁 小ひぐは新桑 く● 尔比具波

万十四 三丁 小ひなへ新掌 へ○ 尔比那閉古下雄畧

二フ 二ヘ 二ホ

小ふ 名地 ふ○ 尔布 万七、十五丁 十四、三丁 小ふ笑 息 上、ふ○

下、ふ● 尔布夫万十八 一丁 十六、十五丁 小へ 名地、人 へ○ 尔閉

万九、十六丁 尔閉続日四 十丁 倍を用ひし 小は名 人 は○ 仁番

古中 應神 小ほひ物餘 ほひ○ 仁保比万十八 八丁 尔寶比万十四 三丁

小はかり鳥 や● 迹本杼理古中 珥保廼利紀神 尔保

騰里万十八 六丁 等をを用ひし

○怒部

ヌカ

ヌク

ヌサ

ぬか でい 名

ひ ○

糠代比賣 古下

ぬか ぬ

ぬか 糠

額田名 か

ぬ ○ 狭野方 七丁十

ぬ もふ か額 六丁

ぬ か 糠

ぬ か 糠

ぬ か 糠

ぬ か 糠

ぬ か 糠

ぬ もふ 糠 八丁十

ぬ く 貫

ぬ く 貫

ぬ さ 幣

ぬ さ 幣

ぬ さ 幣

ぬ さ 幣

ぬ く 難定

奴岐奴棄 古上

奴伎 七丁五

ぬ さ 幣

ぬ さ 幣

ぬ さ 幣

ぬ さ 幣

奴佐 古中

奴左 六丁

ヌシ

ヌス

ヌツ

ヌテ

ヌナ

ぬ 主

ぬ 農斯 六丁

ぬ 須美 古中

ぬ 農珠 同紀

ぬ 自 万十四

ぬ 自 万十四

ぬ 自 万十四

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

ぬ もむ 盗

べ
ぬえくさ 草 偃
く○ 怒延久佐 上 古
ぬりて 名 木
て●

農利渥 紀崇
峻

○祢部
ネカ
ネキ

ぬがひ 願
か● 祢可比 万九、五
十ニ丁 可を用ひしものなり
さ● 泥疑 古中 祢宜 万六、九
五丁 名地

ぬぎ 願
さ● 泥疑 古中 祢宜 万六、九
五丁 名地

さ● 祢疑野 紀景
行

ネシ
ネス
ネタ
ネツ
ネト

ぬどり 白根
● 泥士漏 古下 仁 祢自路 万十四、
九丁 名 人

さ● 祢受 紀推
古 足根 ぬ 泥陀流 古下 雄畧

つこくさ 名 草
つこ○ く● 根都古具佐 万十四、
九丁 名

中● 祢度 万十四、
十五丁

ネノ
ネハ
ネモ
ネヤ
ネウ

ぬのあらさばひ 名 人
さ、は○ ち、ひ● 泥能阿治佐波

毗賣 古中
ぬげ 根 是 ● 泥婆布 古下 雄畧
ぬもころ 慇

こ○ 根毛許呂 万四、
四丁 祢毛已呂 万十四、
三丁 根毛居侶 九、
五丁

ぬもころころ 慇
下、こ● 祢母許呂

其呂 万九、
十七丁 ぬやぎ 處 寐屋
中● 寐屋度 万五、
九丁 ぬらひ

伺
ひ○ 祢良比 万十、
十丁 祢良波里 十四、
九丁

○能部

ノコ

ノタ

のこのう

名地

こ○

能許乃字良

万十五丁

のうり

残

こ○ 能許利

万五丁十

のう

拭

こ●

能其比

万九丁

のふばく

宣賜の約り

は●

乃多婆久

万九丁

ノチ

ノト

ノホ

ノリ

のち後

ち○

能知古上

万五丁

のせ

地名又

や○

能

登 万十丁十

のせがは

地名

や○

能登端河

万三丁

のやうい

名地

や○

能登利田

功紀神

のやかやま

名地

やか○

能登香山

万十丁

のせ

喉

や●

能杼

万五丁

や●

能杼

万二丁

のぼぬ

地名

は●

能煩野

中古

景 紀小寝を用い

のぼる

登

ぼ●

能煩理

古下仁徳

紀

十六

朋褒保を用い

のぼる

立登

ふ○

難定

の

ぼり陀致

紀維

のやうい

祝詞

や○

こ●

能里等其

等 万十七丁

○波部

ハカ

はかせ

名人

かせ○

博勢

紀持

はか

地名

かふ○

博

ハカ

多 古中孝元

はか

袴又

か○

婆伽摩

紀雄

博麻

統持

ハカ

はか

謀

か○

波加由

古下

云はかり

程

は●

いか婆加利

万五丁

かく婆可利

万三丁

ふま

婆可里

万四丁

六一六

ハ
コ

原款

● ٢٤١

四十九丁

牛ふくも。さなハ波久礼
十萬

作ハキ按ハ
る矢

く○●難^レ定 播伎 紀神代万
十六、廿一丁

うかゝ波久古中いそ波久一五

育
上

神号
く
○

二〇 波姑祢 万十四丁

八世

はさ

はしめて
櫓

冊後國の地名。あまのそくどてをり
きふほつて。ゆゑにほづー。

は
け
り

波斯祁夜斯
古中波辭枳豫辭
景行紀波思家

一〇
著者

波自伎
万十四
十六丁

一
●
波

か
○
波

せ ○ つ ●

ハ
夕

は
又

は
ま
姓
あ

はる

とつ波多傳ハタタお波多傳ハタタ
清寧ケイエイ古下コカ志

波多多執

○

け
○
波
陀

三

箕皮
娜
神紀應

●

100

上のま

ハ
ト

つ
●
か
○

波豆可之 九万十八丁
はつせ 地名大和
つせ 波都世 古下雄畧

万十三丁 播都制 畧紀雄
はつはる 春初
は 波都波流 万六丁

はつはな 花初
は 波都波奈 万十七丁
は 波都波都 万四丁

はつはつ 端小
は 波都波都 万四丁
はて 婆よ用

べ 名人
て 巴提便 明紀欽
はて 提よ用い
はて 提よ用い

泊 波底 万十七丁
は 鳩 波斗 古下波

刀 月紀
ハナ ハニ ハネ

はなはら 蓮花
は ち 波奈婆知須 古下雄畧

ち ち 波奈知流 万五丁
は 波奈婆知須 古下雄畧

ち ち 波奈知流 万五丁
は 波奈婆知須 古下雄畧

はなこ 花
こ 波奈其米 万十七丁
はなぐは 花

美 詞 波奈具波辞 紀允
はなび 鼻をい

皆 鼻毗之毗之 九万五丁
はなち 放 ち 波奈知 足

石 神代紀豆を用
は 神号 ち 波奈知 足

波迹夜須毗古 古上元
は 神号又 ち 波奈知 足

波迹夜須毗賣 古上元
は 信濃 ち 波奈知 足

思奈 万十四丁
は 地名 ち 波奈知 足

古下 波泥孺 紀天
は 波祢受 万八丁

ハハ
は 波祢受 万八丁

は 國 伯伎 上古
は 幕 是 〇

上、はそ^{トラ}○下、は●波波

は
田

は
○
天^{アマ}
之^ノ
波

波伐加利
万三
波婆
九七丁

書紀 小波玉用いし
るハ心一なり。

八

は

はびろ

は

はふ

乃紫十四不布を用ひたるハ不
死人を葬をもハブルと爲るべし。

下、つ ● 波麻都豆良 十五

はま

波麻倍
九丁

7

る
と
ふ
こ
り
渡
母

は○
神のこゝろ
波
上古
こゝろ
破
仁紀

五

とびひけいる婆上古人ふあめせ婆古中景行人

播渡

波椰攀

波夜走佐和氣

速ハヤ
吸ス

はやく

息歎

紀雄
うぬ免巴
柳

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525

卷之四

被
ふ
○

宇

波里波良
丁十六丁
万十四十三

はりぶと

日春
ひ
○
波

は○
波流波

は
3

遙
は

1

七力

か
○

か
○
比
可
利
元
丁
五
賀。

紀德
仁

目のかげゝるれをヒカケルとあるへきまかくあるハ、
下上ふあをかへる。左へのき便ありと師ハいれを。

か ● け ○ 中 此 賀氣流
雄古 畧下

肱
木
之

集
び
さ
い

引
ひ
●
まゝ
弭 枳
紀仲 哀
まゝ
毘 伎
万五 九丁
まゝ
婢 吉
十四 十八

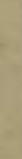
丁
乙
比
伎
十八
十二
丁
乙
比
吉
十四
丁
乙
比
吉
丁
巳
婢

侵元五十
七丁
ㄣ
毘五九
丁
ㄣ
毗十七元
九丁
比續日
伎宣命

そ 婢久
七丁 廿、四十
あつそ 妣久
三丁 十四、
ふな 婢伎
八丁 十九、十
ふな 妣久

ひろくろく

虫周
く ●
比具良之
十丁 万十五、

地名大和、
 ○
比氣

多
雄 古下
畧

いけ
所率
鳥

や
○

比氣
登理
上古

いげ
須

ヒコ

いこいなこけ
名人
こゝ〇
比古伊那許志別命
古中
孝元

ひこふつおりのまこや
名人
ふつ○
比古布都押之信命

古中
孝元

いこいさせりびこ

名人

させ○ひ●

比古伊佐

勢理畎古命古中
孝靈

ひこゆむをみ
名人

を○
比古由年須

美命古中

ひこみちみちのう

人 名 ち皆○

比古多多須美知能宇斯王古中

人 名 比

古意須王古中

ひこくふく

人 名 比

古中

ひこち

婦より

ち

日子遲古中比古尼代紀神

ひ

古神

星

比古保思万十丁

ひこづひ

つ

● 比許豆良比古上万十

ヒサ

ヒシ

ヒス

ひさかみ

天の

か○

比佐迦多古中景行

比佐箇多代紀神仁

ひさし

久

さ○

比佐斯万十丁

比膝

さ●

比射

万十丁

ひがら

菱

○

か●

比辞餓羅代紀神

ひ

物音

景行天皇

○

比志呂乃美夜古下雄畧

ひ

天日隅宮代紀神天日栖宮土記

比師万十丁

ひさのみや

大國主神の御

ヒタ

ヒタ

ヒツ

ひさち

比多知万十丁

ひさかみ

地名

○

か●

比多賀多万十丁

ひさち

一向

ひさち

比

多底里万十丁

太陀万十丁太陀万十丁

比智嶋代紀神

ひ

斐太人万十丁

ひさち

地名

ち○

比智嶋

智天

ひ

ちさのちさ

地名

ちさ

○

比治奇乃奈太

万十丁

ひつ櫃

つ○

ちさ

櫃

八丁

ひつち

物ぬ

つ●

ち

○ 比豆知 万十七、
七丁

都を用ひたるハニ一ニ
約きてハ比遅もリ。

ヒテ ヒト

ひでる

照日

て

比傳流 古下
雄畧

万葉ニテオホアと日皇流
あるもはるべくおもむ。

ひやこのかみ

長とる
人たま

二 ● 比登誤廼伽弥 紀神

ひや

く

他

く

比等久尔 万十五、
四丁

ひやこや

言人

こ

比登其等

万十四、
八丁

ひやでり

考未

て

比登涅羅

賦紀雄

ひやうり

人一

や

○

比登理 古下
仁徳

比等理

万十四、
十二丁

紀ハ毗。優利とあ
るハニ一ニ一ニ

ひやうつ

一

や

つ

○

比登都

古上

紀ハ毗。

苦徒と

あるハ
さろハ

ひやこ

聲一

こ

○

比等已惠

万十九、
五丁

ヒナ

ヒニ

ヒネ

ヒノ

ひなてりぬかふびちさいこちか

号神

ひ

●

ふちこち

四

○ 日名照額田毗道男伊許知迹神 古上

ひなてりぬかふびちさいこちか

号神

一

○

ひ

●

比那良志毗賣

古上

ひな

か

ひ

た

名

人

ひ

○

肥長比賣

古中

聖仁

ひな

た

り

名

人

一

○

日雙斯皇子

万一、
二丁

ひなくもり

日

曇

く

○

比奈久母理

万六、
六丁

ひな

ひ

か

ひ

た

日

二

日

二

具礼よりすひのふと云ふことハ比のてふをハありぬ。

ひな

ひ

か

ひ

た

日

二

日

○ 比尔比尔

万十七、
三丁

ひな

も

を

終

て

○

比祢毛須

万十、
八丁

ひな

も

を

終

て

○

男神 古上

ひな

も

を

終

て

○

火之夜藝速

万十、
八丁

ひな

も

を

終

て

○

男神 古上

ひな

も

を

終

て

○

火之夜藝速

万十、
八丁

ひな

も

を

終

て

○

ヒハ

ヒ、

○ 佐藤考三

〇 八

は
○

五二〇

比婆之山

十仁
二德
丁万

くおもはる某
人との往來あり。

い
ろ
ろ

五

10

世
後

ふれど
ふれど

42



比
萃

紀

良夫

ひら

飛

賣命

大也

九

辛我。ヒシ

廣橋

ふ○
比呂波牟
十萬

フケ

く○
布伎
上古布履

ふくね

け
る
○

フセ

ふ
に

ふさく

一〇
布斯上古

伏

盡布時
四十四

ふた子

世 ○ 布勢 力 中 古

74

布多遲能伊理田比賣會

敷多我美夜麻

山城地名

當をふ。とふ。に記付不
委一ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。

○ 布多理

ふふはか

ち
○

五十四、式六
丁十九、式六丁。

フ
ト

小

大馬

布都

子

ふふまわが

名人

欽明

フ
フ

入船
い

舶騰毛

ふ
ぢ
き

布奈

競

●

布奈藝保布

万九丁

ふなつへ

船

へ

布奈能開

万九丁

倍を用ひ

ふなはし

橋

は

難定

布奈波之

万十四丁

ふなはし

ふなづぬ

神

●

布怒豆怒神

上

フハ

フヒ

フ

フホ

ふはつらくぬをぬ

神

はくを三

●

布波能

母遅久奴須奴神

上

ふは

美濃郡名

は

不破

万九丁

ふひ

人名

ひ

不比等

紀持統

ふ

能登郡名

ふー

鳳至郡

万七丁

不布志

ふ

含

ふ

布敷麻留

万十四丁

ふ

含

は

こ

府保語茂利紀應

フミ

フモ

フユ

フラ

フル

フレ

ふみやほり

通

や

布美等保利

万九丁

ふ

麓

や

踏本

万九丁

ふ

ふ

●

布毛太志

万十六丁

ふゆ

冬

さ

○

布由紀

古中

ふ

觸

は

布良婆開

古下

ふ

名

く

布流玖麻

古中

ふ

草

古

く

○

布流久左

万十四丁

ふ

被振

ふ

布礼多都

古下

仁德

幣部

へキ

へク

へソ

○ 後考三

○ 四十二

可
一

四十三

[illegible]

神 庫
 保玖羅 紀垂
 保久良 神社
 神名 帳
 保久良

誇
こ
○
保許里
万十七、四
十五丁
ほこゆけ
弓を用、
こ様へ
こけ
○

矛ホコ由氣
 古中
 神武
 祝
 さ
 ○
 かむ保佐枳保佐枳
 紀神

代
ほむせり
神号
せせ ○ 火須勢理命
上古
褒能須素里
紀神

代
師曰能ハ後人の如
くふるべし。
はを
干
を○
保佐流
三丁
万十四

蔓椒
そと○
哀曾紀
紀皇極

ホタ
ホツ
ホト

ほうり
 秀 罇
 魚 ●
 本 庵 理
 古 下
 雄 畧
 ほうえ
 秀 枝
 つ ○
 本 都

延古中應神。方十
九、四十八丁。
保菟曳紀應
神

秀鷹
つゑ○
保

追多加 万十七、四
十六丁

ほつまく小

秀真 園

つく○

袍菴莽句

你紀神
 武
 面を用ひと
 るハ石正。
 ほつもり
 舎
 つ
 ○
 本都毛理
 古中
 應神

五十

四十五

○麻部 ㄣカ

まかね 真金 か○ 麻可祢 万十四, 三丁

麻可奈思美 万十四, 四丁, 六丁

まかこや 名矢, かこ○ 麻可胡也 万九, 五丁

い擬 か○ 今占麻迦那波而 上古

可利 万十八, 一丁 まがる 曲 か● 麻我理 万十九, 五丁

まがつい 号神 か● つひ○ 禍津日神 訓訓禍云摩賀

上麻我都比 延喜式 八 津と日ハあるふハありぬと九て助詞の下へつ

沙都比古字沙都比賣御井都比賣 記ふなるめ

まがふま 横井氏曰 目赫玉ニ か

万十七, 麻我不 八丁 可を用ひし

ㄣキ

まさむく 地名 大和, さく○ 麻岐牟久 古下纏向 月中

被 さ○ 磨紀 代紀神 まささく 枕檜の 詞

紀継 真木佐苦 万一, 一丁 まさ 枕小為 二又巻

麻吉 万十七, 一丁 まさ 求 さ○●難定 つま麻岐 古摩加牟

月中 つま磨祁 紀継 小磨儀 神く小麻藝 万九, 五丁

神武 かく後居のやうと変へ 用ひしれを定めし

波之 万十四, 十二丁 まささる 紛 さ○●難定 麻伎良

ㄣク ㄣケ ㄣコ

まろが

名地

く○

か●

麻久良我

十丁

まろ時

く○ 末枳

九丁

まくひ

く○ 麻久比

古下

まろ

まろがむ

枕大

か○

摩久良可武

十丁

まろ

くらふち

枕大

麻久良多知

八丁

まろ

考未

魔俱囉喏

体紀

まろ

磨概茸

神紀

代

云く

く○

なかさ

麻久

まろ

久ハ

あかこひ

萬久ハ

二丁

まろ

く○

●難定

摩遇那岐

紀允

まろ

●麻具波思

万十四丁

某グハシと云

まろ

まろ

け○

麻氣

万十七丁

末伎

九丁

まろ

許登

万十四丁

マサ

まろ

●真

まろ

麻佐吉久

万十七丁

まろ

○ 麻左可

万十四丁

真坂

六丁

まろ

○ 正鹿山津見

神上

まろ

●難定

麻左底

万十四丁

まろ

●真折

まろ

●

麻左

まろ

まろ

●真清

まろ

麻佐夜可

万十四丁

まろ

まろ

●

まろ

まろ

まろ

まろ

○ 後考三

○ 四十七

マシ マス マソ

まゐる

白真

まゐ

麻之路

万十九丁

まゐる

辞

一〇

ぬぬて麻斯古下雄下さぬきせ摩之

紀景みせ麻思

万十九丁

申る麻之

同四

麻之

五丁

まゐる

交

一〇

末自列留

万五丁

まゐる

名

まゐ

摩須郎女

化開

まゐる

勇

まゐ

麻須良多祁牟

万五丁

まゐる

む、伸り

まゐ

都麻須

万七丁

まゐる

麻蘇

万四丁

まゐ

真

まゐ

麻素

万十四丁

二、五丁

まゐる

まゐ

真澄

まゐ

末蘇可我弥

万十九丁

まゐる

真赤

まゐ

麻曾保

万十四丁

マタ マチ

まゐる

名

まゐ

麻多烏麻拖能烏

紀垂

まゐる

真玉

〇 麻多麻

古下

まゐ

又

麻多

万五丁

紀二陀

〇 麻多

全

まゐ

〇

麻多祁牟

古中

麻多久

まゐる

斑

まゐ

〇

萬太良夫須麻

万十四丁

ちやう

問待

まゐ

〇

麻知刀敷

万十七丁

まゐ

難待

か

● 難定

麻知迦豆

万五丁

末知我底

万十一丁

某カテ

言多く使る所ふ。是の我の字をも用ひふ。決りて。

マツ

マテ

マト

まつち

松浦

つ〇

ち

●

麻都良遲

万五丁

まつ

〇 法考三

四十八

さよひ光 名人 ひ○ 麻通良佐用嬪面 万五、十 四丁 まつばの

名地 つ○ 松帆浦 万六、十 六丁 まつふえ 越中、 地名 ぬ●

麻都太要 万十七、 六丁 まつちやま 名地 つち○ 亦打山 万十、 二、十

八丁、 五丁 まつばら 原松 つ○ は● 磨菟磨邏 紀神 功 ま

つがへり 松臺 か● 麻追我弊里 万十七、 四 十丁 まつりふそ

奉 ぬ● 麻都里太須 万十五、 六丁 まつろふ 従 つふ○

磨都羅符 紀雄 麻都呂布 万十八、 一丁 まつ 待 つ○ 麻都 古 中

神末菟 紀 万九、 十九丁 まづ 先 つ● 麻豆 万五、 十

提麻泥麻泥低萬代 万葉小 多 かくはほのちを交へ用い ぬ● ま

丁、 十九丁 云、 まて 迄 て○ ● 難定 摩氏 上古 麻氏 天麻

やぬひ光 名人 やい○ 圓野比賣 古中 大和の地名のタカ

もかろれを と 八はきあり まやば 真 遠 や○ 麻等保久 万十四、 十 七丁、 十丁 麻登

保久 同 八丁 保久 八丁

マナ マハ マヒ

まなばら 鳥名 は● 麻那婆志良 古下 雄畧 まなかい 眼

か○ 麻奈迦比 万五、 八丁 まながり 拱 か● 麻那賀理 上古

まなこち 小道 こ○ ち● 麻奈胡 万十四、 七丁 愛子地 七、

子愛 こ○ ● 難知 万十三、 二丁、 小真名子とある 名ハ乃ハ通ひく真之子のこと

まはる 廻 は○ 多麻波理 万七、 七丁 まい 賂賄

ひ○ 末比 万五、 四 十丁 まい 真 日 ひ○ 麻肥 古中 應神 まい

舞

ひ○ 麻比古中仲哀

マヘ

マム

マヨ

まへつや

戸前

つや○

麻幣都斗古中崇神

まへつさみ

天皇の大

前仕奉
臣等も云

さ○

魔幣菟耆弥紀景行

まむち

名人
ち○

満智宿祢紀履中

まよがさ

眉作れ

か●

麻用賀岐古中應神

まよひ

弊

ひ○

麻欲比万十四丁十九丁

マリ

マレ

マロ

マキ

マウ

マヲ

まゆさふ

名人

さふ○

麻利耆拖紀孝德

まゆせ

名人
せ○

摩理勢古紀推

まゆふ

名地

ふ○

麻里布おろ

万十四丁

まれ

名人

ー○

摩礼志紀舒明

まろこ

名人
こ○ 麻

呂古王古下欽明

まゆで

参

て●

麻爲泥万十八丁七丁

ひを
とる

ハ不

まうく

儲

く○

麻宇氣受万十八丁七丁

まむと

白

ま○ 麻表須古下仁德

麻表志紀万五丁一丁

まむこ

小真

菰

こ●

麻半其母万十四丁八丁

○美部

ミア

ミウ

ミカ

みあ

御在所

か○

御在香万二丁八丁

御阿良可延表式

み

うささ

名地

さ○

御宇良佐伎万十四丁六丁

みか
若狭地名

地名

か○

美可母乃夜麻万十四丁十四丁

みか

若狭地名

三方之海ミカタノウミ

万七丁六丁

みかく

隠見

か○

見可久思万十四丁五丁

○陸奥考三

○五十

みかたは

潮

かた

源箇始報

紀仁

みかた

廷朝

●美可度

万十五丁

等を用ひて

みかた

見欲

か

○美賀本斯

古下

源餓朋辞

紀

見我保之

万葉

アリ

かたもるべし

ミキ

ミク

ミケ

みさ

酒御

○

源枳

紀崇

美伎

万十九丁

みさ

御倉

く

御倉多那

みく

真櫛

く

け

美久之宜

万十九丁

今の俗み首をみど

へんてみきとらるる皆は

二一巻ふフクシと美夫君志とほまは

みぐ

水

く

水具

麻

万十一丁

みけ

筑紫

け

弥概弥開

紀景

みけ

御

け

美祁斯

古美家思

みけ

朝廷

献

けつ

御食都國

万十三丁

か

あゝぬどみ云とりの言も某國

ミコ

みこ

相模

こ

美胡之

万十四丁

みこ

御

こ

弥許々呂

万十五丁

ほ

みこ

御

こ

美巨騰

万五丁

騰を用ひて

みこ

命又

こ

神美許等

い色の美許等つす美許登

古美舉等

紀神

ち美許等

れ美已等

万十九丁

スメラミゴトとほるハ誤

み

こや

命在

こ

美許等

尔作例波

万九丁

ミサ ミシ ミス ミソ

みさか 坂真 さ○ 美佐可 万九、四 十丁 美ささ 崎真 さ○ 美

佐祁 紀継 体 みるご 名鳥 さ○ こ● 三佐吳 万十二、十六 丁、四十丁

みと 短 ー● 美自可伎 万十五、三十丁 みるま 統御

○ 美須麻流珠 古上紀 神代 みる 真虚 空 〇 弥蘇羅

紀推 古 みるち 十三 ち○ 弥蘇知 弘足 石哥

みふふ 真 谷 〇 美多尔 古上紀 神代 みるま 真 玉 〇 美

多麻 万五、十 二丁 みるれ 乱 〇 美陀礼 古下 美太礼 万十五、四十丁

丁 多と用ひる みるく 陸奥 ち○ 美知能久 万十四、十五丁

みちゆさぶり 道行 〇 道去夫利 万十二丁 みるの

へ道 へ● 美知乃倍 万九、十 三丁 みるち 道問 〇 美

知斗閉婆 古下 履中 紀二度を用ひ みるは 道間 遠

〇 路波之騰保久 万十七、三十丁 みるち 名獸 ち○ 美智 古美

知紀神 代 三ツ

みつはの光 神号 つは○ 弥都波能賣神 古 弥菟破廼迷 神紀

武 みるみつ 久米、枕詞 つ皆○ 美都美都斯 古中 神 武紀 〇

ハ誤 り。 みる 満 つ○ 三都 万二、十丁 みるぐ 中の 枕詞 つ○

く● 美都具理 古中 應神 弥菟愚利 日紀 みるれ モツル、と云ふ近

つ
○
は
●

〇 ● 難定 美都奇
 五丁 万七、七

つ ● ざ ○ ● 難

名人
乙○

名人
乙○
水依比

○ 美豆等利 万斤、
丁 水のつふ都。
を用ひと

考未
く
○
こ
●
弥
逗
矩
陞
御
暮

つ ● 美豆久
万 万
丁 丁
都。を用ひてさ
ハ一 一 一 一

水可良
萬三、九
六丁

かあろ
ろろろ
ろろろ
ろろろ
ろろろ
ろろろ

つ ● 美豆良 上古 都

つ ●
美豆
古中垂仁
一、九三丁
万
弥圖
神組

つ
●
か

此二条ハ、かゝ書ハありれども、富喜の二つで、
保ありれを、かゝしず、かくあふぶさするあり。

三十一

みゆのよ

みづのこ

地名

美奈曾己
紀仁
極万

紀武美奈刀 万十四
烈 十八丁

度を用ひと
るハ不心
みなとく
枕詞 魚女
そく○ 美那曾曾久 下古

雄畧紀 是ふなそへて身
武烈 8. 後ふふとふふ
みなとく
立水氣

さ ● ひ ○ 源 雛 蟻 羅 毗
明 紀 音
みなとく
みなとく
は

枕詞 水 占 占
は ○ 美奈宇良波倍
五十七丁
みなとく
みなとく
は

詞 美奈能和多
五十九丁
みなとく
みなとく
は

か ● 美奈能瀬河泊
六丁
みなとく
みなとく
は

三二 三ネ ミノ 三八 ミフ

み 醜
く ○ 源 你 句
代 紀 神
みねふかみ
高 峯
ふ ●

弥祢太可美
五十七丁
みねふかみ
身 盛
ひ ●

微能佐加理毘登
古下 雄畧
みねふかみ
御 劔
は ○ 弥波迦志 景紀

行
みねふかみ
名 人
は ○ ひ ● 美波迦斯毗賣
古中 景行

みねふかみ
柱 真
は ○ 美波迦斯毗賣
代 紀 神
みねふかみ
船 御
ふ ○

源赴泥
紀 仁 美布祢
十八丁
吉野の地名
の ミ フ 不 山

へては
みねふかみ
産 部
ふ ● 美文 紀皇 極

三へ 三ホ 三一 三ハ

み 伊勢
地名
へ ○ 美幣 古下 雄畧
みねふかみ
地名 園
は ○ 美保

万三、四
十九丁
みねふかみ
鳥 名
ふ ● 美本杼理 古中 應神
みねふかみ

こがろえね
孝 照
天皇
志 ○ 御真津日子訶惠志泥 命
古中 孝照

みねふかみ
名 人
ひ ○ 御真津比賣 古中 開化
みねふかみ

崇神
天皇
さ ○ ひ ● 美麻紀伊理毗古
古中 崇神 源磨紀異利

寐胡同紀

みまゝ 汝

美麻斯 續日 宣命

みゝがのやま

吉野地名

か ● 耳我山 五丁十

みゝなゝ

地名 大和 一〇 耳

梨山 一丁十

ミヤ

みやむひえ

名人

む ● ひ ○

美夜受比賣 古中 景行

みやぬ

みやがはえひえ

名人

か ● ひ ○

宮主矢河枝比賣 古中 應神

か ● 八河江比賣 八丁

みやのせがは

地名

か ● 美夜

能瀬河泊 九丁四

みやゝろ

地名

一 ● 美夜自呂 五丁四

みやけ 御家

け ○

弥夜氣 紀垂 弥移居 舒明

みやひや 官人

ひ ○ 美夜比登 古下 九丁 紀同 五丁 七丁 某人所りかひて

奈良人須磨人吉備人里人山人あどはるあり難波人

みやつかへ

仕官

つ ○

宮都加倍 五丁四丁 十三丁

誤ハ

みやばさ

柱宮

は ●

美也婆之良 五丁五

みやび 流風

ひ ● 美也備 九丁十

みやこやうり 鳥名

や ● 美夜故村

里 五丁四 十九丁

みやこがふ

方都

か ○ 美夜古可多 五丁一丁

三ル

三斗

三ヲ

みふまどかり

見真盛

さか ○

美屢摩沙可利 紀神 代

みぬ

つひえ 名人

ひ ○

御井津比賣 古中 陶化

みをつく

標

つ

○ 水牟都久思 五丁十 十五丁

○牟部

△カ

△キ

むかい

昔 か○牟可之 万七、五
十五丁

むかへ

迎 か○牟

加開

古下 茶

むかふ

牟比太知 万十八、三
丁、七丁

むかひふち

向 立

牟可比太知 万十八、三
丁、七丁

武藝 万十四、
七丁

多。用
ひ。用
は。用
ひ。用

むかひふち

牟可比太知

武藝

万十四、
七丁

多。用
ひ。用
は。用
ひ。用

△ク

△ケ

△コ

△サ

むくさか

茂 栄

牟俱佐加 統日
宣命

むく

楳 く○

牟久

古武知 紀天

むく

牟具良

万十九、四
十四丁

むけ

平 け○

武氣 万五、十
三丁

むげ

美濃 郡名

け○

牟宜 古

行景 牟義 録 姓 氏

むこ

津 地名

こ○

務古 紀神 牟故 万十五、
六丁

むこへ

名人

こ○

へ○

牟五開 統日

牟後開 統日

むこ

姓名 又

さ○

牟狹社 紀天

牟佐 統日 姓

むさ

地名 又

さ○

牟邪臣

古中 孝照

武鯨 万七、
三丁

武射 統日

むさ

國名

さ○

无邪志

古牟射志

万十四、
八丁

むさ

獸名

さ○

ひ○

牟佐佐婢

万三、十八
七、七六丁

射。用
ひ。用

ハ。用
ひ。用

さ○

△シ

△ス

△セ

△タ

△ツ

むしろ

席

○

武志呂 紀仁

牟之呂 万八、
二丁

むし

虫

○

務始 紀仁

むし

蒸 衾

ふ○

牟斯夫須麻

上古

むし

格

○

牟士那 紀仁

むし

神 号

ひ○

武

須毗 紀神

高御産 巢日、神

神産 巢日、神

むし

結

ひ○

武須弥 紀

体 牟須 姓 万七、十三丁 比。敬。保。用。ひ

武須弥陀 礼 紀 継 比。敬。保。用。ひ

武左受 万一、十 咽 比。敬。保。用。ひ

武都紀 万五、十 比。敬。保。用。ひ

武奈許等 万七、五 比。敬。保。用。ひ

武奈伎 万十六、 比。敬。保。用。ひ

武良自 万七、 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良自 万七、 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

武良等理 万七、卷 比。敬。保。用。ひ

光さけ

上召

け ●

咩佐宜

万五、七
六丁

光あ

筑紫、
地名

あ ○

米

多君 古中應神
続日三、卷

光づき

名人
つ ●

梅豆羅古
紀経

光

見希

つ ●

梅豆羅志
紀神功、万
五、十六丁

光の愛

つ ●

梅涅梅豆
紀允
米佐
万十五、
七丁

光やう

や ●

賣杼理
古下

仁謎 通利
月紀

光ひ

越中、
地名

ひ ○
賣比
万十七、
四十八丁

○毛部

モコ

モス

モこ 許如の
畧

こ ○

毛古 古中
應神毛胡
紀仁

んて、かくとまのこ
ハルヤニコレコニハ

はむ 海へ
ハルヤニハ

もころ

同
如ト云ニ

こ ○
母許呂
万十四、
三丁

母巳呂
万、
七丁

ハ 北へ
ハルヤニハ

もむ

鳥名

毛 ●
毛受
仁古下
徳

モタ

モク

モト

もふ 然黙

あ ●

母太
万十七、
一丁

もちやう

鳥

ち ○
が ●

母智騰利
万五、
七丁

もち持

ち ○

母知 古中
神武
万五、
七丁

とるハ
不心

もやつひや

つひ ○

母等都比等
万五、
十三丁

もやむ 末

や ○

母等米
万十七、
四丁

もやま

俗語の、メツタ
ニ、云ハ同ト

や ○

母等奈

万十五、
一丁
母登奈
万十七、
十丁

もやほ

廻
や

ほ ○
母登富理

古中
神武茂等倍屢
同紀

もや

本

や ○
母登

古中
神武茂等
同紀

紀小騰を用い
ハ心ハハルヤニハ

モノ

モミ

もつゝべ

姓

へ ●

物部 古中
神武紀経
万五、
二丁、
八丁

もつゝふ

朝
延日

二仕奉
人云云
ふ○ 母能乃布 万九,十
物能乃敷 十七,廿

くろ 寶物
く○ 望能志呂 紀崇
くつさは 物の多
き○

暮能婆幡 紀武
もみちひみつひみひ 葉
ちつふい○

毛美 知 万十七,廿八丁,十九,十
三丁,廿丁,廿一丁
毛美都 十四,廿
毛美多比 十

此言 十九,廿,廿一,廿二,廿三,廿四,廿五,廿六,廿七,廿八,廿九,三十,三十一,三十二,三十三,三十四,三十五,三十六,三十七,三十八,三十九,四十,四十一,四十二,四十三,四十四,四十五,四十六,四十七,四十八,四十九,五十,五十一,五十二,五十三,五十四,五十五,五十六,五十七,五十八,五十九,六十,六十一,六十二,六十三,六十四,六十五,六十六,六十七,六十八,六十九,七十,七十一,七十二,七十三,七十四,七十五,七十六,七十七,七十八,七十九,八十,八十一,八十二,八十三,八十四,八十五,八十六,八十七,八十八,八十九,九十,九十一,九十二,九十三,九十四,九十五,九十六,九十七,九十八,九十九,一百

葉
は● 毛美知婆 万十五,廿
七丁,廿九丁
十九,十三丁,廿一,廿二,廿三,廿四,廿五,廿六,廿七,廿八,廿九,三十,三十一,三十二,三十三,三十四,三十五,三十六,三十七,三十八,三十九,四十,四十一,四十二,四十三,四十四,四十五,四十六,四十七,四十八,四十九,五十,五十一,五十二,五十三,五十四,五十五,五十六,五十七,五十八,五十九,六十,六十一,六十二,六十三,六十四,六十五,六十六,六十七,六十八,六十九,七十,七十一,七十二,七十三,七十四,七十五,七十六,七十七,七十八,七十九,八十,八十一,八十二,八十三,八十四,八十五,八十六,八十七,八十八,八十九,九十,九十一,九十二,九十三,九十四,九十五,九十六,九十七,九十八,九十九,一百

モ、
モロ

宮の
枕詞
き○ 毛毛志紀 古下 雄畧 毛母之綺 万十八,廿

人
名
へ● 百師木伊呂 辨 古中 應神
く○ 毛

船百
ふ○ 毛母布祢 万十九,廿
六丁
く○ 毛

毛久佐 万五,九丁
もくくま 限百
く○ 毛母久麻 万五,廿
二丁

中り
鳥百
や○ 毛毛等利 万五,十
七丁
もくか 日百
か○

毛毛可 万五,廿
四丁
もくふふ 足諸
ふ● 毛毛陀流 古下 雄畧
も

ちふふ
ち○ ぬ● 毛毛知陀流 古中 應神 茂茂智儂 盧

紀
此外某と
りふ 皆 係二
もくつうま 鳴百
つー○ 母毛豆思

麻 万十四,六丁
豆を用ひ
もろさふぬ 名船
さ○ 母慮紀 無 紀 孝 德

万五,十六丁,十八丁,十九丁

○夜部
ヤカ
ヤキ
ヤク

やかみひえ 神
号
ひ○ 八上比賣 古
やがえひえ 神
号
か

● ひ○ 八河江比賣古 かよほる伊勢ハ次 **やがはえ**

● か● 夜賀波延古下 耶餓波曳日紀 祝詞久ハ用

やがみく 昨日上 ● 夜賀多久古下 **やさみち** 大焼

刀 **や**○ 夜伎多知万十八十七丁 **やく** 名國 く○ 夜

句掖玖古紀推 **やくもみ** 出雲枕詞 ○ 夜久毛多都古夜

句茂多菟代紀神 **ヤサ** **ヤシ**

やさかざり 八尺鳥 さか○ **や**● 也左可杼利万十四

やさし 耻 さ○ 夜佐之万五丁 **やしまづぬみ** 神号

下、● 八島士奴美神古 神代紀ハ八嶋篠の訓注ハ新

やしまづ 八島國 く○ 夜斯麻久尔古 野絶磨俱你

紀継 **やしか** 社 ー○ 夜之呂万九丁 **やしな** 養

ー○ 椰始儺播務紀仁 **ヤス** **ヤソ**

や 近江郡人名 安○ ヤス古中益須紀持 夜須王三 野洲郡

や 和名 **や** 天上名 か● 夜洲能河波万十八丁

や 安 夜須久古下 **や** 安所 夜

○ 夜須美斯志古下 夜輸弥始之紀仁 **や** 瘡 **や**○

夜須万七丁 **や** 休 夜須米受万十七丁 **や**

ふけ 武人 **ふ**○ ケルハ **や** や

八十 伴緒 夜蘇登毛乃半 万十七、四 夜蘇

く○ 夜蘇久尔 万七、十 夜蘇

許登 万十四、十九丁 夜蘇

迦上 八十毗羅訶 中 崇神

やふ 八 阿多 上 古 夜多 仁 古下

やち 八 阿多 上 古 夜知富許能迦微 上 古

くさ 八 夜知久佐 万六、十五 夜都故

つさ○ 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やふ 八 夜都米佐須 古中 景行 夜都故

やまやひ

命倭武

も
こ
そ
こ

古中
孝靈

古下
仁德
椰薺

播紀孝

書ハるけ
て得

古下
允恭
椰摩

まび
山邊

姒故
兀五
八八

まぢき
昔山

夜麻杆里

下
相磨妍

はる

夜廨吏傳

古下山多
允恭

九七丁

末佐渡姓

五

○
山
可

あまのつ

子

頁比

万代 一処のこゝ
十丁 九て山某と

八股
大蛇
あち
○

丁 戊

ひ
○

代紀
神

工
キ

由

由岐
古紙推
由伎

由伎多良波之

用興
乙五

ユ
ツ

ゆ
く
ぞ

中

二
●
旦波

卅

ゆ○ 由多 万十一
ゆつる 移 万十四

ゆづる 譲 万十四
ゆづる 由豆利 石 万十四
ゆづる 由都利 万十四

ゆづる 由豆流波 万十四
ゆづる 由豆加 万十四
ゆづる 由豆利 石 万十四

● 由豆加 万十四
都を用ひし

ユハ ユフ ユラ ユル

ゆはを 弓 万二
ゆはを 弓波受 万二
ゆはを 弓 万二

遊布麻山 万十四
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

ひ○ 由布比 古下 万十四
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

欲 万十五
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

霧 万十四
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

け○ 由布氣 万十四
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

万九 十
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

敵 万九 十
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

く 万九 十
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

緩 万九 十
ゆはがは 吉野 万十四
ゆはがは 吉野 万十四

○ 與部 ヨク ヨコ

く 萬七 十
與奇 萬七 十
與久 萬七 十

く 余久須 萬七 十
與奇 萬七 十
與久 萬七 十

く 余久須 萬七 十
與奇 萬七 十
與久 萬七 十

○ 夜具多知 万十九, 昨曰。後居を下上
二ふさかへし。

行 こと○ 余許佐良布 古中 應神
よこなまり 訛 こと○

與許奈磨屋 武紀神
よこふか 夜 こと○ 欲其母理 万十九, 十五丁

よこけ 吉 事 こと○ 餘其騰 万十九, 六 騰を用ひし
ハ不正。

ヨサ ヨシ

よこみ 姓地名。 こと○ 豫佐源北いけ 紀應
よこた 寄

こと○ 與佐斯 続日宣命。 非。ハ
よこ 丹波郡 こと○

餘社, 郡 紀雄 譽謝王 万一, 十
よこ 縁 こと○ 餘志 万十七, 十九丁 寺。用ひ

よこ こと○ 與之惠也之 万十九, 十九丁 用ひ

よこ こと○ 與之惠也之 万十九, 十九丁 用ひ

ヨス ヨセ ヨソ ヨタ

よこか 因 こと○ 余須可 万十六, 五丁 誤。ハ
よこ 網寄

せつ○ 與西都奈 万十四, 十三丁
よこ 名 人 こと○

余曾多本 毗賣命 古中 懿德
よこ 東 装 こと○ 與曾比 古上, 万 十九, 十七

丁. 譽贈比 代 紀神
よこ 寄 こと○ 與曾理 万四, 十 余所留

十三, 十 こと○ 與曾倍 万八, 五 倍を用ひし

ハ不正。 こと○ 與曾 万十三, 五 余増 万十七, 四

役, 東 こと○ 欲太知 万十四, 二丁 竹節 こと○ 余囊開

紀 體 こと○ 欲太知 万十四, 二丁 竹節 こと○ 余囊開

ヨチ ヨト ヨノ ヨハ ヨヒ ヨフ

同齡の ち○ 余知 万十四、十七 丁、五、九丁 攀 ち○

與治 万九、十丁 知、を用ひ、 地名又 水、深處 中○ 與騰 万四、十三

丁余藤 三、九丁 等、を用ひ、 夜、 中○ 瑤用廼虛

紀仁 万葉、二、等、を用ひ、 夜、明 中○ 夜之

總杼呂 万四、五十三丁、八、六丁、 婚 は○ 用婆比 上古

宵 ひ○ 與比 万十四、 毎夜 ふ○ 欲布祢 万十

丁一 ふ○ 呼 ふ○ 與妣 万十五、十六丁 比、を用ひ、

ヨモ ヨル ヨロ つ○ く○ 譽母都俳遇比

黄泉の炊爨 物と食ふ 黄泉と、顯 境 余母都比羅佐

紀神 黄泉と、顯 境 余母都比羅佐

可代紀神 蓬 余母疑 万十八、 丁

地名和、 か○ 因可乃池 万十二、十九丁 終 夜 か

● 欲流波須我良 万十五、丁、四、六丁、 相模、 郡名 難

定 余呂伎 万十四、七丁 萬 つ○ 余呂豆 紀推古、万

丁一 寄 は○ 豫呂朋 辟言紀仁 物、形、 調、

ふ○ 與呂布 万一、七丁

○良部 ラク ラシ ラス ラヒ

と、伸、 くら○ と、つ、む、と、す、羅、句、 紀崇、あ、か、

つ良久 万四、十二丁、 み良久 一、六、丁、 ふう良久 四、五、十、丁、 ありけ良久 五、十、

十二 丁 二 辞 一 〇 不平坐良志 古中 神武 良信 万

十六 丁 九 けぬ良斯 九、十 二、十 ころけ良思 三、四 五、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

良進 九、十 ちる良新 十、四 十 ひとくあ良志 十、五 九、十 志をひけ

ちつみ 人名 ちつ ○ 和知都美命 古中 安寧

神号 つ ● 和豆良比能宇斯能神 上古 ちつみ 煩 つ ●

和豆良比 五九、八丁 ちつ ● か ○ 和豆

香山 五三、五十八丁

ワナ ワニ ワヒ ワラ ワ、

わなしき 身震 動負 ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

岐の岐もほろろれ ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

布礼能意富美 古中 應神 ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

應神 ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

丁五 ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

和良妣 五八、十丁 け ○ 和和氣 五九、十丁

○鳥部 井カ 井ク 井テ 井ナ

わが 木又鳥の居る ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

羅辞 同紀 ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

山城、地名、又姓 ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

て ○ ● 難定 井提 五七、七丁、十丁 ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

謎 紀雄 負 辨 抄 和名 ち ● 和那那岐 古中 神武 ちハ一処ありれど。

○惠部 正カ 正ク

名が 河内名 か ● 惠賀 古中衛我 紀天 草名 く ●

惠具 万十丁十 一、九丁十 名く 咲酒 く ● 惠具志 古中 應神

正八 正二 正三

名は 名は ○ 惠波王 古下 宣化 名は 咲 ひ ○ 惠麻比

万十丁五 名みさかえ 咲 名 恵美佐迦延 上古

○ 袁部 ヲカ

名が 越中名 上、か ○ 下、か ● 平加未河泊 万十丁四

十九丁 名が 筑前地名 名か ○ 崗水門 一丁、七、十 塙舸水門 筑前風土記

和名抄、遠賀、とあるハ非ハ。 名が 岡 名かち ○ 平加耻 万十丁四

名が 園邊 ひ ● 平加備 万十丁七、五、卷、肥、用 名が

名が 丘 名さ ○ 塙介佐桑 紀神 武

ヲキ ヲク ヲケ ヲコ

名が 招きく ○ 遠岐 上古平伎 万十丁九、三、丁、呼久 十七、十六丁

誤、ハ 名が 萩 さ ● 平疑 万十丁四、十八丁 名が 岫 桑治 く

● 名さ ○ 平具奇 万十丁四、七丁 名が 童 く ● 鳥具那 古中

景行、紀日、名が 顕宗 天皇 け ○ 表祁王 古下弘計 紀顯 名が 名麻 け

名が 名人 けつひ皆 ○ 表祁都比賣 命 古中 名が 尾輿 紀安 平已志

○ 表家 万十丁四、九、三丁 名が 名人 二、一 ○ 尾輿 紀安 平已志

日結 名が 愚 二 ○ 表許 古中于古 同紀 應神

語筑

つ ●

平豆久波 万十四丁

都を用ひる

平底母許乃

の 彼面此

て二〇

平底毛許乃母 万十四丁

平底母許乃

毛 十七丁四

男

表等古 古上紀

表等古

や ○

鳥等呼 紀神

平登賣 万十七丁

一昨

や

つ ○

半等都日 万十七丁四

名 人

ひ ○

表 比賣 雄 古下

名 地

半度 万十四丁

名 人

語 床

や ●

平桴許 万十四丁

平騰許 万十四丁

躍

●

平桴利 万五丁四

平騰流 万十九丁

ヲ ナ

ヲ ノ

ヲ ハ

鳥 那 羅 俱

紀 崇

名 人

へ ●

表 那 辨 郎 女

古 中 鳥 儺 謎 媛 同 紀

古 子 記 垂 仁 段 表 邪 辨 王

那 辨 郎 女 處 那 邪 誤 水 邪

上 岑

へ ○ 半 乃

倍 三 万 丁 十

倍 三 万 丁 十

名 國

は ○ 表 波 理 古 中 景 行

同 紀

終 是 ○

半 波 里 万 一 丁 八

半 布 流 遠 敵 五 丁 十 丁

名 地

は ●

半 婆 奈 万 一 丁 十 丁

名 地

は ●

鳥 麻 野 始 紀 皇

云 々 是 是 辭

は ● 二 遠 婆 上 古

日 び て 鳴 磨 紀 繼

ぬ 半 婆 子 々 々 万 十 四 丁

さ ら ぢ 半 婆 万 十 四 丁

丁 波 用 ひ 々 々

ヲ フ

ヲ ホ

ヲ ミ

ヲ モ

越 中 地名

ふ ○

半 布 万 七 丁 半 敷 七 丁 八

船 小 ふ

● 表夫祢 古下仁徳万十四六 継体 ● 表

本村命 古下 花 へ○ 平美奈弊之 万葉

とくふ 玉つとて く○ 平謀苦留留 紀神

ヨイ ヨエ ヨロ

とくふ 名人 ひ○ 小石比賣命 古下 とくふ 名人

ひ○ 小兄比賣 古下 とくふ 軒 か● 鳥呂餓弥 紀推

古

石塚藏板

かろつゝい奥の山道
志 葛 系
右近刻

享和元年辛酉秋發行

製本弘所書林

勢州松阪日野町 柏屋兵助
京都二条通柳馬場東又町 林 伊兵衛
同寺町通四条上町 錢屋利兵衛
同御幸町通御池下町 菱屋孫兵衛

